画像電子学会年次大会予稿の書き方 (タイトル)

IIEEJ Word Template (Title)

－大会報告形式 (サブタイトル)－

－The Format of Proceeding (Subtitle)－

画像 花子† 電子 太郎‡ 学会 三郎‡

　Hanako GAZO† 　Taro DENSHI‡ and Saburo GAKKAI‡

†画像大学工学部　　 　†Faculty of Engineering, GAZO University

‡画像株式会社開発部 　‡R&D Division, GAZO Corporation

E-mail: †hanako@gazo.ac.jp, ‡{taro, saburo}@denshi.co.jp

1. 原稿の提出形態

提出原稿のファイル形式は「PDF」または「HTML」(HTMLテンプレート参照)です．「PDF」での原稿作成の際は，すべてのフォントを埋め込んで(embed)事務局でヘッダやページ情報の追加記載が可能なようにご配慮下さい.もし，PDFファイルでのご提出が難しい場合は，事務局にご相談下さい．

・**PDF原稿の作成について**

<http://www.iieej.org/nenji/font_enbedding.doc>

なお，年次大会の予稿，書誌情報はJ-stageにて公開させて頂きます．

2. レイアウト

2.1 タイトルその他(1ページ目上部)に関して

大会予稿の1ページ目上部には，タイトル，発表者氏名，所属の和文と英文，およびメールアドレス(任意)をそれぞれ記述してください．

2.2 本文に関して

本文は2.1の「タイトルその他」に続けて記述してください．MS-Wordで作成する場合はこのテンプレートファイルを用い，本文は必ず左右18cm，天地25.5cm以内の長さにおさまるようにしてください．本文は9ポイント活字を標準とし，字間および行間は適宜調整して25文字×46行×2段／ページを目安にしてください．

2.3 図表，写真に関して

図表，写真も電子データで提供下さい．図面，写真，表の中の文字や数字も本文と同じ大きさとなるようにしてください．

3. 原稿枚数

原稿枚数は図表，写真等を含め，全セッションA4サイズ2~4ページ程度とします．必ず所定枚数内におさまるようご配慮ください．

4. 著作権について

研究会講演予稿に掲載される論文の著作権については，<http://www.iieej.org/trans/toukou/IIEEJcopyright.pdf>

をご参照下さい。

5. 発行日について

著作権保護に関わる大会予稿集の発行日は，大会開催初日とします．ただし他学会と共催の場合には，共催学会中で最も早い発行日に合わせます．

6. 原稿提出先

下記メールアドレスにメール添付でお送りください．なお，提出時の件名（Subject）と原稿名については「原稿執筆に関するご案内」のメールでご確認ください．

e-mail：event@iieej.org

問合せ先：

画像電子学会事務局

〒116-0002　東京都荒川区荒川3-35-4

ライオンズマンション三河島第二 101号

TEL (03) 5615-2893

FAX (03) 5615-2894

e-mail：kikaku@iieej.org

**文 献**

1. (雑誌の場合) 著者名，“標題，”雑誌名，巻，号，pp.を付けて始め－終りのページ，月(英語)年．
2. (雑誌例1) 山上一郎，山下二郎，“パラメトリック増幅器，”画電学会誌，vol.31, no.1, pp.20-27, Jan.2002．
3. (雑誌例2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain, diffusion of impurities during epitaxy, Proc. IEEE, vol.52, no.3, pp.284-290, March 1964.
4. (著書，編書の場合) 著者名，書名，編者名，発行所，発行都市名，発行年．
5. (著書，編書例1) 山田太郎，移動通信，木村次郎(編)，pp.21-41，画像電子学会，東京，1989．
6. (著書，編書例2) H. Tong, Nonlinear Time Series: A Dynamical System Approach, J. B. Elsner, ed., Oxford University Press, Oxford, 1990.
7. (著書の一部を引用する場合) 著者名，“標題，”書名，編者名，章番号またはpp.を付けて始め－終りのページ，発行所，発行都市名，発行年．
8. (著書の一部引用例1) 山田太郎，“周波数の有効利用，”移動通信，木村次郎(編)，pp.21-41，(社)電子情報通信学会，1989．
9. (著書の一部引用例2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratlliff, Inhibitoryinteraction in the retina, in Handbook of Sensory Physiology, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.
10. (国際会議の場合) 著者名，“表題，”会議名，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，都市名，国名，月(英語)年．
11. (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta, Micro-cavity semiconductors with enhanced spontaneous emission," Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., no.MoF4.6, pp.3-13, Amsterdam, The Netherlands, Sept.1990.
12. (国内大会，研究会論文集の場合) 著者名，“標題，”学会論文集名，分冊または号，no.を付けて論文番号，pp.を付けて始め－終りのページ，月(英語)年．
13. (国内大会，研究会論文集例) 川上三郎，川口四郎，“紫外域半導体レーザ，”2001画像電子学会年次大会，予稿集,一般セッション14,pp.20-21,Jun.2001．